

小作爭議調查表

No. 32

(月報番號第一八二號)

(昭和十年二月分)

場 所	彌生郡水城村古宮觀音寺 三三四		地 主 木 原 龜 雄	關 係 人 小 作 人 苗 竹 和 藏	發 生 終 熄	昭 和 九 年 十 一 月 二 九 日 昭 和 十 年 三 月 一 日
	地 主 關 係 團 體	+	小 作 人 關 係 團 體	小 作 人 全 農 福 協 會 水 城 村 分 會 野 支 部		
原 因	小作人廿昭和六年一度一俵半、七年一度四俵、八年一度日金即不納し毎年出作人との理由に 勝手な小作料減額率と此の件、本年一度日金案と理由に地主は合申し、之を以て付十月廿 日立見すべく決定し、序々として小作人の其の前の日金案を輸入せしむるに周す。					
要 求 項 目	小作人 小作料 減額要求 地主 土地 區區 要求					
經 過	地主小作人、不滿意と極限し、十月廿九日福岡地方裁判所に小作料停止申請あり、 三月十日判決、此の小作料停止を合所値。此果地裁判所片野支那長外十數名を招き、本も執事 七人、之、小作料停止者、其の努力により、左の條件に即決す。					

財團 協調會福岡出張所

備 考	結 果
	一、大半は五分乃至一割の減額 二、残りの昭和九年一度小作料は限り、全收獲高の四割を以て小作料とす。